

目 次

1	編入学概要	1
2	募集学部・学科、募集人員	1
3	受験資格	2
4	各学部の編入学要件	3
5	受験資格確認	7
6	受験資格についての注意事項	8
7	修業年限および在学年限	8
8	編入学後の単位認定	8
9	出願手続から入学手続まで	10
10	出願方法	11
11	編入学志願票記入例	12
12	受験票	14
13	受験料	14
14	試験実施	14
15	合格発表	17
16	入学手続	17
17	問い合わせ先一覧	18
	出身学校コード一覧	19
	志望学部学科コード一覧	25
	校舎案内図	26
	2012 年度 2 年次転籍・転部・転科・編入・継続学士 入学試験 志願・受験・合格者数	30
	2012 年度 3 年次転籍・転部・転科・編入・継続学士 入学試験 志願・受験・合格者数	31

※ 外国人留学生の方は、**14** 試験実施「**■** 試験科目（P.15）」の表中および表下の《注意 1》を必ず参照してください。

2013 年度一般編入学試験要項

1 編入学概要

- 学士の学位を有する者
- 他の大学において相当年次の課程を修了した者
- 短期大学および高等専門学校を卒業した者
- 外国において相当年次の課程を修了した者
- 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者

このうち、本学の定める受験資格を有する者が試験を受けて本学に入学すること。

2 募集学部・学科、募集人員

■ 募集学部・学科（2 年次・3 年次共通）

学 部	学 科
法 学 部	法律学科 政治学科 国際政治学科 (2 年次のみ)
文 学 部	哲学科 日本文学科 英文学科 史学科 地理学科 心理学科 (文芸コースを除く) ※ P.3 参照
経済学部	経済学科 国際経済学科 現代ビジネス学科
社会学部	社会政策科学科 社会学科 メディア社会学科
経営学部	経営学科 経営戦略学科 市場経営学科
人間環境学部	人間環境学科 (3 年次のみ)
現代福祉学部	福祉コミュニティ学科 臨床心理学科 (2 年次のみ) (2 年次のみ)
キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科 (2 年次のみ)
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科 (ヘルスデザインコースを除く) ※ P.7 参照

■ 募集人員

2 年次・3 年次各学部・学科共通	若干名
-------------------	-----

※法学部 3 年次編入学試験については、編入学定員を設けて募集します。

法学部 3 年次	法律学科 20 名／政治学科 10 名
----------	---------------------

3 受験資格

■ **受験資格（共通）**：以下の資格に該当すれば全ての募集学部・学科に出願できます。

2年次	● 4年制大学に1年以上在学（見込みの者を含む）し、教職・資格科目を除き30単位以上を修得している者（修得見込みの者を含む）。 ● 短期大学卒業生（2013年3月卒業見込みの者を含む）。 ● 高等専門学校卒業生（2013年3月卒業見込みの者を含む）。 ● 外国において相当年次の課程を修了（修了見込みの者を含む）し、30単位以上を修得（修得見込みの者を含む）している者。
3年次	● 学士の学位を有する者。 ● 4年制大学に2年以上在学（見込みの者を含む）し、教職・資格科目を除き60単位以上を修得している者（修得見込みの者を含む）。かつ、文学部心理学科志願者においては、所定の科目を4単位以上修得済みの者（修得見込みの者を含む（※ P.4 参照））。 ● 短期大学卒業生（2013年3月卒業見込みの者を含む）。 ● 外国において相当年次の課程を修了（修了見込みの者を含む）し、60単位以上を修得（修得見込みの者を含む）している者。

■ **受験資格（学部ごと）**：上記の資格に加えて各学部で出願可能となる資格です。

2年次	法学部 文学部 経営学部 キャリアデザイン学部	① 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（※）を満たす課程を修了した者。（2013年3月修了見込みの者を含む） ・ 法学部・文学部・経営学部・キャリアデザイン学部に関限り出願できます。
-----	----------------------------------	---

※文部科学大臣の定める基準とは、修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であること（学校教育法施行規則第186条第1項、告示）

①に該当する場合は、出願前に問い合わせてください。

3年次	法学部 文学部 経営学部 人間環境学部	① 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（※）を満たす課程を修了した者。（2013年3月修了見込みの者を含む） ・ 法学部・文学部・経営学部・人間環境学部に関限り出願できます。 ② 高等専門学校を卒業（2013年3月卒業見込みの者を含む）した者。 ・ 法学部・人間環境学部に関限り出願できます。
-----	------------------------------	---

※文部科学大臣の定める基準とは、修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であること（学校教育法施行規則第186条第1項、告示）

①に該当する場合は、出願前に問い合わせてください。

4 各学部の編入学要件

法学部 3 年次編入学について（法律学科・政治学科）

※ 国際政治学科では、3 年次編入学の募集は行いません。

単位認定

履修の構成	卒業所要単位 卒業要件に加算できる単位	編入学者の単位認定
市ヶ谷基礎科目	44	44 単位一括認定※ ¹
自由科目	20 ※ ²	20 単位を限度として認定※ ³

※¹ 編入学時に修得している単位は、その科目内容にかかわらず、44 単位分を卒業所要単位として基礎科目（いわゆる教養科目）に一括して認定します。

※² 自由科目は 20 単位まで卒業所要単位として加算できます。

※³ 44 単位を超える単位については、その科目内容にかかわらず 20 単位を限度として、自由科目に単位認定します。

法学部での卒業所要単位

学 科	基礎科目	専門科目※ ⁴				合 計
		必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目	
法律学科	44 単位以上		32 単位以上	56 単位以上	20 単位までは 卒業所要単位 として数える	132 単位以上
政治学科	44 単位以上	4 単位		84 単位以上		

※⁴ 編入学後、卒業に必要な専門科目の単位を 2 年間で修得することになります。

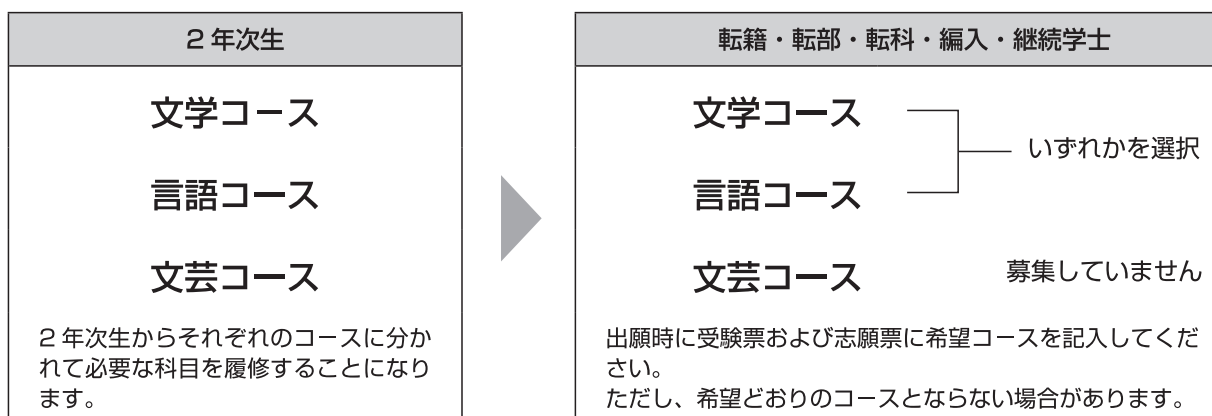
法学部国際政治学科編入学について

国際政治学科へ入学した場合、海外研修（約 2 週間）が必須となりますが、この研修費用（約 55 万円）は学費とは別にかかります。

文学部日本文学科編入学について

日本文学科のコース制度

文学部日本文学科では、1994 年度入学の 1 年次生からコース制を導入しました。



具体的には、入学後各コースのゼミを選択することになります。また、2 年から 3 年への進級時にコースの変更も可能ですが、その場合には担当教員と相談してください。各コースとも少人数のゼミナールを中心としたカリキュラムが組まれており、その概要は次のようになっています。

文学コース

古代から中世、近世、近・現代までの日本文学の全般にわたり、作品・作家研究を中心に、その歴史や時代背景を含めたより深い享受と文学性の追究を目的としています。

言語コース

日本の最近の国際化、海外進出を念頭において、広い視野で言語の学問にアプローチしようというコースであり、世界の諸言語との関連の中で言葉・文法を追究していきます。したがって、関連する国語学や言語学、最近の生成文法などにも力を注いで、専門の語学力の養成にも努めていきます。

■ 文学部心理学科編入学について

文学部心理学科の3年次編入を志願される方は、P. 2「**3 受験資格**」に記載のとおり、法政大学文学部心理学科カリキュラムにおける「学科基礎科目」のうちの以下の科目群に読み替え可能な科目 12 単位のうち、4 単位以上修得済み（修得見込みも含む）であることが条件となります。条件を満たせない場合には 2 年次へ志願してください。

- ・心理教育統計学 I（2 単位）、心理教育統計学 II（2 単位）…心理学（および教育学・社会学）の研究を行うために必要な統計学・統計法の科目であること。数学・経済学等、心理学に隣接しない領域の統計学では不可。
- ・心理学基礎実験（4 単位）…心理学実験の手法を体験的に学ぶことを中心とした内容であること。
- ・心理学測定法 I（2 単位）、心理学測定法 II（2 単位）…質問紙法の作成・実施を中心とした心理測定に関する内容であること。

出願の際は、これらの科目の**シラバスの写し**と**単位数のわかる書類**も同封してください。**なお、合格判定後、これらの科目を修得していないことが判明した場合には、合格を取り消します。**

※類似する科目等判断が困難な場合には、受験資格の有無について必ず 2012 年 10 月 12 日（金）までに「**シラバスの写し**」と「**単位数のわかる書類**」を添えて、文学部担当まで確認してください（大学からの問い合わせのため、必ず住所・電話番号・メールアドレスを付記してください）。なお、期日までに申請がない場合には、受験資格の有無について回答することができない場合がありますのでご注意ください。

■ 経済学部を志望する皆さんへ

進級要件について

経済学部では、各年次の進級要件が厳しく規定されています。認定単位数が少ない場合は、1 年間では次の学年に進級できないことがあります。

特に 3 年次への編入を希望する方は、4 年次への進級要件は極めて厳しくなっていますので、ご注意ください。

2 年次から 3 年次への進級要件および 3 年次から 4 年次への進級要件は次の通りです。

【2 年次から 3 年次への進級要件】

(1) 2 年次修了までに 50 単位以上修得していなければならない。

【3 年次から 4 年次への進級要件】

以下の要件をすべて修得していなければならない。

(1) 基礎教育科目の卒業所要単位（＝入門ゼミ 4 単位）

(2) 外国語科目の卒業所要単位

・第一外国語（経済・現代ビジネス学科：8 単位，国際経済学科：14 単位）

・第二外国語（6 単位）

(3) 保健体育科目の卒業所要単位（＝スポーツ総合 2 単位）

(4) 総合教育科目（経済学科：22 単位以上，国際経済・現代ビジネス学科：20 単位以上）

(5) 専門教育科目

経済学科：全コース共通基本科目＋コース基本科目＋コース選択科目：46 単位以上

国際経済学科：基本科目＋国際経済学科選択科目：42 単位以上

現代ビジネス学科：基本科目＋選択科目：48 単位以上

・ 3 年次編入を志望する皆さんへ

単位認定にあたっては、前籍の修得科目名および内容をもとに行いますので、経済学系以外からの編入の場合は、単位認定がされにくい傾向があります。また、英語以外の諸外国語および体育実技が必修のため、前籍で修得していない場合は、履修する必要があります。これらの条件により特に 3 年次編入生は、年間上限単位まで履修しても進級できない場合があります。

※編入する学年については、上記の進級要件も考慮して決定してください。

経済学科のコース制度

経済学科では、コース制度（社会システムコース、政策情報コース、環境文化コース）を導入しています。どのコースに所属するかを入学手続書類提出時までに選択してください。なお、国際経済学科、現代ビジネス学科にはコースはありません。

経済学部 S A（スタディ・アブロード・プログラム）

※ 3 年次編入者は対象外となります。

経済学部の学生が 3 年次の前期に、イギリスのシェフィールド大学英語教育センター、アメリカのカリフォルニア大学ディヴィス校国際トレーニング & 教育センター、オーストラリアのモナッシュ大学英語センターで開講される授業を履修するプログラムです。

■ 社会学部を志望する皆さんへ

主専攻・副専攻制と進級要件

社会学部では主専攻・副専攻制（7 コース・8 プログラム制）を柱とするカリキュラムを実施しています。このカリキュラムは、各専攻に対応した、他大学にない選択必修科目が多数設置されており、各年次の進級要件の中で厳しく規定されています。認定単位数が少ない場合、1 年間では次の学年に進級できない場合が生じます。

特に、3 年次への編入を希望する方は、4 年次への進級要件が極めて厳しくなっていますので注意してください。3 年次から 4 年次へ進級するためには【3 年次から 4 年次への進級要件】をすべて満たし、かつ、【2 年次から 3 年次への進級要件】に定められている「学科入門科目」に関する進級要件をすべて満たすことが必要です。また、社会学系の学部以外からの編入や前籍で英語以外の諸外国語や体育実技の修得単位がない場合は、1 年間では 4 年次に進級できない可能性があります。出願にあたっては必ず事前に社会学部事務課にご相談ください。

社会学部の【2 年次から 3 年次への進級要件】および【3 年次から 4 年次への進級要件】は次の通りです。

【2年次から3年次への進級要件】

以下に示す要件を全て満たさなければならない。

- (1) 2年次終了までに、60単位以上を修得しなければならない。
- (2) 学科入門科目より、14単位以上を修得しなければならない。

ただし、①自分が所属する学科の「○○学への招待」、「○○学入門A・B」より4単位以上、②自分が所属する学科の「○○学への招待」、「○○学入門A・B」、「コース入門科目」をあわせて合計10単位以上を修得しなければならない。

【3年次から4年次への進級要件】

以下に示す要件を全て満たさなければならない。

- (1) 3年次終了までに、98単位以上を修得しなければならない。
- (2) 「Basic English 1-I・II」「Basic English 2-I・II」および「必修外国語として登録した諸外国語初級A・B」について、各々4単位、合計8単位を修得しなければならない。
- (3) 「スポーツ総合1-I・II」(合計2単位)を修得しなければならない。
- (4) 社会科学基礎理論から4単位以上を修得しなければならない。

社会学部SA (スタディ・アブロード・プログラム)

社会学部スタディ・アブロード (SA)・プログラムは、2年次後期もしくは3年次後期の英語圏・中国語圏への3～4ヶ月のプログラム(アメリカのボストン大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、カナダのトロント大学、中国の北京師範大学)と、3年次のカナダ・アルバータ大学への8ヶ月のプログラムです。このプログラムへの応募の可否については、以下のとおりです。

- 2年次編入学者の場合
 - ・ 2年次後期のSAへの応募は認めません。
 - ・ 3年次後期のSA、3年次の長期SAへの応募は認めます。
- 3年次編入学者の場合……SAへの応募は認めません。

■ 経営学部編入学について

出願時に、入学後の単位認定に関するお問い合わせには応じていません。

経営学部SA (スタディ・アブロード・プログラム)

経営学部SA (スタディ・アブロード・プログラム) への応募はできません。

■ 現代福祉学部を志望する皆さんへ

受験資格

教職・資格科目を除き30単位以上を修得している者と記載されていますが、ここでの資格科目とは、社会福祉士、精神保健福祉士国家試験受験資格に関わる科目ではありません。

※編入学試験に関して不明な点は、現代福祉学部事務課へお問い合わせください。

■ キャリアデザイン学部を志望する皆さんへ

キャリアデザイン学部では3年次編入の募集はしません。

昼夜開講について

キャリアデザイン学部では、昼夜開講で授業を実施していますが、夜間時間帯（6，7 時限）には授業数が少ないため、また 2013 年度に 7 時限授業を廃止する予定であるため、夜間時間帯（6，7 時限）と土曜日のみで、通常の年数で進級、卒業することはできませんのでご注意ください。

単位認定について

単位認定は、前籍の修得科目名および内容をもとに行いますが、キャリアデザイン学部では独自性のある科目が多いため、単位認定がされにくい傾向があります。入学後単位認定を受け、その後上限単位の履修登録をしたとしても、進級要件を満たすことができない場合がありますのでご注意ください。

■ スポーツ健康学部を志望する皆さんへ

スポーツ健康学部のコース制度について

スポーツ健康学部ではコース制を導入しています。コースは、＜スポーツビジネスコース＞、＜スポーツコーチングコース＞、＜ヘルスデザインコース＞の 3 コースからなり、2 年次生からそれぞれのコースに分かれて必要な科目を履修することになります。ただし、編入学される方については、＜スポーツビジネスコース＞、＜スポーツコーチングコース＞の 2 コースのいずれかを選んでもいただくことになります。＜ヘルスデザインコース＞は募集していませんのでご注意ください。入学後は、希望したコースに所属することになります。出願時に受験票および志願票に希望コースを記入してください。

スポーツビジネスコース

体育学および健康科学など「スポーツ健康学」の基礎となる学問領域を体系的に理解し、両者を結びつけたスポーツ関連事業（非営利組織・民間企業など）において、質の高いサービスを創造、提供できる人材を育成することが本コースの目的です。このコースでは、スポーツ振興のための政策、事業としてのスポーツ運営・経営の方法を教育研究の対象としており、スポーツが地域社会の活性化や住民の生活の質的向上と同時に産業としても成熟させることへいかに貢献しうるか

を教育の柱としています。

スポーツコーチングコース

競技力向上のための科学的なトレーニング方法や生徒児童が運動不足に陥らないための方策、健康社会の実現に向け運動習慣を身につけるための指導法を教育研究の対象としており、スポーツを継続的に実践していくための指導方法を学ぶことを教育の柱としています。学識と実践力と人間性に長けたスポーツ指導者を育成するという視点から、「スポーツ健康学」へアプローチを試みることをコースの目的としています。

進級要件

スポーツ健康学部では、必修科目・選択必修科目が多数設置されており、各年次の進級要件の中で厳しく規定されています。また学年ごとに体系的にカリキュラムが組まれていることから、認定単位数が少ない場合、1 年間では次の学年に進級できない場合が生じますので、編入する学年については、熟慮ください。

5 受験資格確認

受験資格についての不明な点がある場合には、P.18 の「**17** 問い合わせ先一覧」を参照のうえ、各人が志願する学部の窓口まで問い合わせてください。なお、**現在外国の大学・短期大学に在学している者、またはこれを卒業した者は必ず 2012 年 10 月 12 日（金）までに**、志願する学部へ受験資格を証明する書類（例：成績証明書本書、単位を取得した科目の内容および総時間数が確認できる資料）を添えて、受験資格の有無を照会してください。なお、書類が日本語、英語または中国語で書かれている場合は、そのまま提出してかまいませんが、それ以外の言語で書かれている場合は、日本語または英語の訳文が必要です。その際は、大使館等の公的機関が発行した証明書が必要です。

※大学からの問い合わせのため、連絡先には、必ず住所、電話番号、メールアドレス（PC または携帯）を付記してください。

6 受験資格についての注意事項

- ③ 受験資格に記載されている4年制大学・短期大学・高等専門学校とは、学校教育法に定めるものを指します。
- 受験の際に、受験資格となる単位について、修得見込みで受験した者が試験に合格した場合でも、**最終的に所定の単位を修得していない場合には、合格を取り消します。**
- 外国人は、昼夜開講制の学部（文学部日本文学科、人間環境学部、キャリアデザイン学部）で夜間に多くの授業（年間履修科目数の概ね1割）を履修する場合は、留学ビザを取得できませんので注意してください。

7 修業年限および在学年限

● 学則第13条第1項

本大学の修業年限は、4ヵ年とする。但し、学生は休学期間を除き、本大学に8ヵ年を超えて在学することはできない。なお、前期在学し、後期に休学、退学及び除籍になった場合、あるいは後期に復学及び復籍した場合、また、前期に休学し、後期に在学した場合、当該年度の在学期間は0.5年として計算する。

● 学則第13条第2項

転・編入学者および通信教育課程からの転籍者の在学年数は、該当修業年限の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

2 年次編入学者の在学年限は 6 ヲ年
3 年次編入学者の在学年限は 4 ヲ年

8 編入学後の単位認定

■ 認定単位数の上限について

2 年次編入学	3 年次編入学
本学の 1 年次へ配当する単位数の合計	本学の 1・2 年次へ配当する単位数の合計
	法 学 部 単位を一括認定します(P.3を参照してください)。 人間環境学部 認定単位上限は 60 単位

単位認定は各学部の認定基準によります。

■ 認定科目について

2 年次編入学	3 年次編入学
本学の 1 年次が履修できる科目	本学の 1・2 年次が履修できる科目
	法 学 部 単位を一括認定します(P.3を参照してください)。

同じ講義内容であっても単位認定できない場合があります。

■ 学部・学科・専攻について

現在在籍している（または、過去に在籍していた）大学・短期大学の学部・学科・専攻が本学志願学部・学科と同系統でない場合は、編入学後の認定単位数が不足しがちですので、2 年次に編入学した方が余裕をもって履修できます（法学部を除く）。

■ 短期大学卒業生・専修学校修了生の方へ

短期大学卒業生、専修学校修了生（2013年3月卒業・修了見込みの者を含む）は、2年次・3年次編入学のいずれも志願可能ですが、3年次編入学を志願する場合には、志願学部によっては入学後の認定単位数が不足し、卒業までに2年を超える場合もあります。

■ 必修外国語科目について

学 部	必修外国語科目
法学部・文学部・経営学部	下記の①②から選択（法学部国際政治学科は①のみ） ①英語および英語以外の諸外国語 1ヶ国語の計 2ヶ国語 ②諸外国語 1ヶ国語
経済学部・社会学部・キャリアデザイン学部	英語および英語以外の諸外国語 1ヶ国語の計 2ヶ国語
人間環境学部	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語から 1ヶ国語
現代福祉学部	英語、中国語から 1ヶ国語
スポーツ健康学部	英語

入学後外国語科目認定単位数が無い、または少ない場合、補講等で履修することになりますが、特に3年次編入学者（法学部を除く）は、既存の学生が2年次までに履修済みとなっている単位を1年間で履修することになりますので、かなりの努力が必要です。

なお、英語の授業はすべて高校卒業程度以上の学力があることを前提として行われます。

■ 教職科目・資格科目について

教職科目・資格科目は、単位認定をしません。前大学で修得した単位は前大学で証明し、不足する単位のみ本学で履修することとなります。編入学後に教員免許状・各資格の取得を希望する場合には、卒業と同時に免許状・資格が取得できない場合があります。現在在籍している大学（または、過去に在籍していた大学）より教職科目の学力に関する証明書・資格科目用の単位修得証明書を編入学後に取寄せ、各学部の窓口で相談してください。なお、教職課程については、過去の履修状況にかかわらず、編入学後は新免許法により履修することになります（旧免許法科目は開講していません）。旧免許法により一部単位を修得していた場合にも、改めて新免許法に則した科目の履修が必要です。ただし旧法において修得した単位は、新法に読み替えて使用できる場合もあります。

注意

～図書館司書課程及び博物館学芸員課程を希望する方へ～

関連法施行規則の一部改正に伴い、2013年4月1日以降に編入生として在籍した場合は、改正された新課程が適用されます。

■ 進級について

編入学者の入学前の修得単位によっては、入学1年後に必ずしも進級できない場合もありますので注意してください。

9 出願手続から入学手続まで

受 験 資 格 確 認

P. 7 「5 受験資格確認」の該当者のみ

受 験 料 振 込

出 願 書 類 送 付

出願期間：2012年11月5日（月）～11月9日（金）
《締切日消印有効》

受 験 票 受 領

編 入 学 試 験

試験日：2012年12月9日（日）

合 格 発 表

発表日：2012年12月13日（木）

入 学 手 続

手続期間：2013年1月4日（金）～1月11日（金）
P.17 「16 入学手続」を参照してください。

※ これ以降の日程については、合格者へ別途通知します。

10 出願方法

■ 出願期間

2012 年 11 月 5 日（月）～ 11 月 9 日（金）《締切日消印有効》

■ 出願方法

出願は郵送のみで受け付けます。以下のとおり指定の封筒を使用し、簡易書留速達で出願期間内に送付してください。

- ・ 緑色封筒…経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部志願者
- ・ 白色封筒…上記以外の学部志願者

身体に障がいがあり、受験上および就学上特別な配慮を必要とする場合

必ず出願前（受験料を銀行から振込む前）に、志願する学部の事務担当までご相談ください。

（視覚障がい者は試験会場設定等の関係から、できるだけお早めにご相談ください。）

（P.18 「17 問い合わせ先一覧」参照）

特別な配慮を必要とする受験を希望する場合

- 提出書類 ・ 医師の診断書または「身体障害者手帳」の写し
 ↓ ・ 本学所定の申込書
- 面 談 ・ 本学と志願者双方で日程を調整
 ・ この面談は、特別な配慮の内容・対応の可否について確認するためのものであり、合否判定とは一切関係ありません。

■ 出願書類

- ・ 銀行の収納印のある C 票（受験票）および D 票（志願票）
（縦 4 cm×横 3 cm、上半身脱帽、3 ヶ月以内に撮影した写真を貼付すること）
- ・ 受験資格（単位数）を証明する書類（該当する書類は全て提出すること）
 - a. 出願時に修得済み単位がある場合・・・成績証明書
 - b. 出願時に履修中の科目（単位）がある場合・・・履修登録科目証明書（科目名および単位数が記載されているもの）
- ・ 卒業証明書（卒業見込証明書）または在学証明書（前籍を退学している場合は退学証明書）
※卒業見込の場合は、在学証明書ではなく卒業見込証明書を提出してください。
- ・ 宛名シール（経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部の志願者のみ）

《注意 1》C・D 票は、切り離さないで送付してください。

《注意 2》出願後の志願学部・学科・学年および受験科目の変更は認めません。

《注意 3》出願書類は不備なく提出してください。不備の場合には、受験できないこともあります。（P.12～P.13 の記入例をご参照ください）

《注意 4》証明書とは大学長の証明文・押印のある書類またはそれに準ずる大学が発行する正式な書類のことです。

《注意 5》現住所（連絡先）は必ず日本国内のものを記入してください。

《注意 6》文学部心理学科の 3 年次編入を志望する方は、**心理学科所定の科目のシラバスの写しと、当該科目の単位数の記載された書類を必ず同封してください。**類似する科目名等、判断が困難な場合は、必ず **2012 年 10 月 12 日（金）までに**文学部担当まで受験資格の有無について確認してください。（P.4 参照）

■ 願書の提出における個人情報（氏名・生年月日・住所・電話番号他）取得に対して

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、「入学試験実施（志願者データ作成を含む）」「合格発表」「入学手続」とこれらに関連する業務を行うためにのみ利用します。

Ⅱ 編入学志願票記入例

- 黒または青のボールペン（インク）で、本人直筆で記入してください。書き損じた場合は、修正液を使用して構いません。
- 受験料は、この編入学志願票を使用して、**銀行の窓口**で振り込んでください。その際、A票は銀行控となりますが、B票（受験生の控）およびC・D票（大学提出用）が戻されますので、必ず収納印が②③④に押されていることを確認してください。
（銀行に備え付けの振込用紙では振り込まないでください）
- 収納印が押されていない、あるいは締切日の翌日以降の日付で収納印が押された志願票は無効です。金融機関窓口の営業時間を確認のうえ、余裕をもって手続きを行ってください。
- 出願後、学部学科等の変更はできませんので、注意して出願してください。

最寄りの金融機関で受験料を振込み、①～④に収納印を受けてください（ATM、携帯電話、パソコン等、および「ゆうちょ銀行」（郵便局）からの振込はできません）。(A票は銀行控)
なお、三菱東京UFJ銀行の本・支店から振り込んだ場合は手数料はかかりません。

(2013年度 受験料)

A 電信振込依頼書 (取扱店保存)

依頼日	2012年11月8日	振込指定	電信振込	手数料	
先方銀行	三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店	金額	¥35,000		
預金種目	普通預金	口座番号	4745355		
受取人	ホウセイヘンニユウ	内	現金		
口座名	法政大学編入学	当手	枚		
カタカナ氏名	ホウセイ	他手	枚		
氏名	法政				
住所	〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1				
電話番号	03-XXXX-XXXX				

銀行取扱期間 2012年11月5日(月)～2012年11月9日(金) (期間後取扱不可)

①太線枠内を打聴してください。
②収納印は1・2・3・4にもれなく正確に押印し、票の下は依頼人にお返しください。

取扱銀行 1 収納印

B票は後日入金等の確認をする場合に必要となりますので、各自保管しておいてください。

(2013年度 受験料)

B 振込金受領書 (本人保存)

依頼日	2012年11月8日	金額	35,000 円
先方銀行	三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店	上記のとおり振込金として受領しました。	
受取人	法政大学編入学		
志願者氏名	法政 ふじ子 殿		

取扱銀行 2 収納印

確実に受け取ることでできる受信先の住所・氏名を記入してください。(日本国内に限ります)

(ここを切り離しC票以下を大学に送付)

受験番号

C 2013年度法政大学編入学 受験票

学部	学科	学年
法	法	3

氏名 法政 ふじ子

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 法政大学 法学部

郵便局 料金後納郵便

取扱銀行 3 収納印

注 1. 試験場では常に机上においてください。
注 2. 出願後の学部・学科の変更は認めません。

志望する学部・学科・学年等を正確に記入してください。

- ・文学部日本文学科への編入を志望する場合は、「学科」欄に希望コース（文学または言語）も記入してください。
- ・スポーツ健康学部を志望する場合は、「学科」欄に希望コース（スポーツビジネス[ビジネスと記入]またはスポーツコーチング[コーチングと記入]）も記入してください。

法政大学に在籍している学生は、「編入学試験要項」ではなく、「転籍・転部・転科試験要項」を購入（各学部窓口で販売）し、出願してください。

P.25 を参照し、志望する学部・学科のコードを記入してください。

必ず志望する学年のどちらかに○印をつけてください。

・文学部日本文学科を志望する場合は、() 内に希望コース（文学または言語）も記入してください。
・スポーツ健康学部を志望する場合は、() 内に希望コース（スポーツビジネス[ビジネスと記入]またはスポーツコーチング[コーチングと記入]）も記入してください。

写真は白黒、カラーどちらでも可。万が一はがれても分かるよう、裏面に志望学部・学科・学年・氏名を記入し、しっかり糊付してください。

受験科目は、各学部・学年の注意事項をよく読み、該当する欄に○印をつけてください。

※印欄は記入しないでください。

この④にも収納印を受けてください。

学籍は、申し込み時の現学籍を記入してください。

P.19 ～ P.24 の出身学校コード一覧を参照し、出身学校コードを記入してください。

在学中の場合は申込時の年月で記入してください。卒業または退学、卒業見込の場合は該当する年月を記入してください。

D 2013年度法政大学
編入学志願票

(○で囲む)		受験番号	
編入	2年	3年	

志望学部学科コード	1 / A A A		
志願先	法学部	法律	学科
カタカナ	ホウセイ	フジコ	姓
氏名	法政	ふじ子	男
生年月日	西暦 1992 年 4 月 11 日		
現住所	〒102-8160 東京都千代田区有明 2-17-1		
出身学校	学校コード 2 2 4 9 法政女子 短期大学 専門学校		
卒業	1. 卒業 2. 卒業見込 3. 退学 4. 通学		
出身高校	国名 高等学校		

写真貼付欄
1. 半身脱帽、最近3ヵ月以内の顔写真。
2. カタカナで氏名を記入。
3. 写真の裏面に志望学部・学科・氏名を記入のこと。
4. 写真の大きさは4cm×3cm。

受験科目(○印)	※
英語	○
独語	
仏語	
中国語	
日本語	
論文	○
面接	※
	※
	※

④ 取扱銀行 収納印

※外国人留学生のみに記入のこと。

(1)志願票は絶対折り曲げないでください。
(2)出願後の学部・学科・受験科目の変更は認めません。
(3)※印欄は記入しないでください。
(4)電話欄は電話連絡する場合があるので必ず記入のこと。
(5)受験科目に必ず○印を付すこと。

12 受験票

受験票には、確実に受け取ることのできる住所・氏名を必ず記入してください。大学から試験日の1週間前までに届くよう返送します。なお、切手を貼付する必要はありません。受験票は合格発表まで必要です。大切に保管してください。

13 受験料

受 験 料 35,000円

受験料は、振込依頼書のついているA票からD票まで、所定事項をすべて（※は除く）記入のうえ、必ず銀行の窓口で振り込んでください（ATM、携帯電話・パソコン等、および「ゆうちょ銀行」（郵便局）からの振込はできません）。A票からD票まで、銀行の収納印を受け、そのうちのA票を除いたB・C・D票を受け取ってください。なお、いったん出願した後は、受験資格がないことが判明した場合以外には、受験料は一切返金いたしません。

14 試験実施

■ 試験日 2012年12月9日（日）

■ 入室時間 午前9時15分までに試験教室へ入室してください。

■ 試験時間割（2・3年次共通）

時 間 \ 学 部	現代福祉学部・スポーツ健康学部以外	現代福祉学部・スポーツ健康学部
9:30～10:30(60分)	論 文	英 語
11:00～12:00(60分)	外国語	論 文
当日指示	面接（法学部は課しません）	面 接

※受験票は試験当日は常に携帯し、合格発表まで保管してください。

■ 試験場

志 願 学 部	試 験 場
法学部、文学部、経営学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部	市ヶ谷キャンパス富士見校舎
経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部	多摩キャンパス

※試験教室は、試験当日に各校舎で発表します。

■ 試験科目

学年	学 部	試 験 科 目	面接
2 年 次	法学部	論 文…「人文」もしくは「社会」分野に関する問題 外国語…英語（外国人留学生は《注意 1》を参照のこと）	無
	文学部	論 文…志望学科の専門（哲学科は概論レベル） 外国語…哲学科＜英・独・仏語＞ 日本文学科＜英・中語＞ 英文学科、史学科、地理学科、心理学科＜英語 1 科目のみ＞	有 《注意 3》
	経済学部	論 文…社会常識・経済学の基礎《注意 2》 英 語	有 《注意 3》
	社会学部	論 文…一般教育科目の「人文」および「社会」分野に関する問題から各々 1 題を選択し解答 英 語	有 《注意 3》
	経営学部	論 文…「人文」および「社会」分野に関する問題から各々 1 題を選択し解答 英 語	有 《注意 3》
	現代福祉学部	英 語 論 文…福祉コミュニティ学科＜福祉・地域に関する問題＞ 臨床心理学科＜心理に関する問題＞	有 《注意 3》
	キャリアデザイン学部	論 文…専門 英 語	有 《注意 3》
	スポーツ健康学部	英 語 論 文…スポーツ科学、健康科学の基礎的な知識や理解力を試す問題	有 《注意 3》
3 年 次	法学部 （法律・政治学科）	論 文…法学・政治学に関する基礎的な論述試験 志望学科の問題を選択《注意 2》 外国語…英語（外国人留学生は《注意 1》を参照のこと）	無
	文学部	論 文…志望学科の専門 外国語…哲学科＜英・独・仏語＞ 日本文学科＜英・中語＞ 英文学科、史学科、地理学科、心理学科＜英語 1 科目のみ＞	有 《注意 3》
	経済学部	論 文…社会常識・経済学の基礎《注意 2》 英 語	有 《注意 3》
	社会学部	論 文…専門 英 語	有 《注意 3》
	経営学部	論 文…3 分野（経営・会計・経済）から出題され、2 分野を選択し解答 英 語	有 《注意 3》
	人間環境学部	論 文…専門 英 語	有 《注意 3》
	スポーツ健康学部	英 語 論 文…スポーツ科学、健康科学の専門的な知識や理解力を試す問題	有 《注意 3》

《注意 1》法学部を志願する外国人留学生の方へ

外国語科目として受験する語学を確認してください。

●日本語受験

1. 外国において、外国の高等教育課程（大学・短大）に在学またはこれを卒業した者
2. 外国において、外国の中等教育課程（高校）を卒業し、その後、日本の高等教育課程に在学またはこれを卒業した者

●英語受験

上記の 1.2. に該当しない者

《注意 2》試験科目について

- 「社会常識」(経済学部 2・3 年次共通)
現代の国内や世界における、政治、経済、社会問題についての一般的な知識や理解力を試すもの。
- 「経済学の基礎」(経済学部 2 年次)
一般向けの新聞や雑誌などの経済記事が理解できる程度の十分な常識があるか否かを試すもの。
- 「経済学の基礎」(経済学部 3 年次)
この問題は、大学 1～2 年のあいだに修得すべきことを期待されているような、経済学の基礎知識に関するものから選ばれる。数学や図表などを用いる場合は、ごく初歩的なものを出题する。
- 「論文」(法学部 3 年次)
現代の国内や世界における法、政治、社会問題についての一般的な理解を試すと共に、論理的な文章表現能力を試すもの。

《注意 3》面接について

- 第 1 次合格発表

学 年	学 部	面接受験者	第 1 次合格発表	
			日 時	場 所
2 年次	現代福祉学部	筆記試験合格者 (第 1 次合格者)	試験当日指示	現代福祉学部棟 1 階 事務室前掲示板
	キャリアデザイン学部		試験当日指示	試験教室
2・3 年次	文学部		試験当日 14:30 ※	試験教室
	経済学部		試験当日指示	試験教室
	社会学部		試験当日指示	試験教室
	経営学部		試験当日 14:30 ※	試験教室
	スポーツ健康学部		試験当日指示	試験教室
3 年次	人間環境学部		試験当日 14:30 ※	試験教室

※発表時間は変更になる場合があります。

- 服装について

面接時における服装は、軽装や華美でないものを着用してください。ただし、スーツを着用する必要はありません。

■ その他

- 受験票を忘れた場合には、受験票の再発行手続をとってください。
(場所・手続については、当日掲示します)
- **遅刻は第 1 時限開始後 20 分まで認めます。**ただし、時間に余裕をもって早めに来るようにしてください。なお、試験当日朝、首都圏の主要な公共交通機関に乱れ・遅れが生じた場合は、志願する学部まで連絡してください。(P.18 「17 問い合わせ先一覧」参照のこと。なお、試験場が市ヶ谷キャンパス富士見校舎の場合は、当日 03-3264-9234 または 9321 までご連絡ください。)
- 試験時間内での退室はできません。
- **当日の昼食は各自でご用意ください**(学内の食堂は休業となります)。
- 面接試験の終了時間は未確定です。交通機関の切符の手配等に当たっては考慮願います。

15 合格発表

■ 合格発表日 2012年12月13日(木) 午前10時

《注意》合格者には合格発表後、合格書類を速達で郵送します。

合格発表(可否)についての電話・電報・手紙による問い合わせには、一切応じませんので、ご了承ください。

合格発表について

合格発表は、合格者へ合格通知書および入学手続き書類を送付いたします。また補助的な手段としてパソコン・携帯電話により可否結果を自動応答する可否案内を行います。なお、不合格通知の送付は行いません。

詳細は試験当日にお知らせいたします。

16 入学手続

■ 手続期間 2013年1月4日(金)～1月11日(金)(期間厳守)

《注意》

- ① 上記手続期間内に所定の入学金および学費を納入してください。
- ② 他大学との併願等で、延期手続を希望する場合は、次の手続により延期を認めます。まず、「入学申込金(入学金と同額)」を上記手続期間内に納入し、合格書類に同封された「延期手続申出書」と「納入済票」を所定の封筒で郵送してください(郵送は入学手続締切日の消印有効)。延期手続が許可された後の最終手続は2013年3月21日(木)までです。その際、入学申込金は入学金に充当します。
- ③ 上記①または②の入学手続を期間内にとらない場合は、理由のいかんにかかわらず、入学の許可を取り消します。
- ④ 本学への入学手続を完了した後に(入学時納入金を全額納入した後に)、やむを得ない理由により入学の辞退を希望し、2013年3月末日までに大学が定める手続により届け出をした者には、入学金を除く学費その他の納入金を返還します。手続等詳細は合格者に送付される「入学手続案内」を参照してください。

■ 編入学に必要な学費(初年度)

項 目 \ 学 部	法・文(右記以外)・経済・社会・経営・人間環境・現代福祉学部(右記以外)	文学部地理学科	文学部心理学科	現代福祉学部臨床心理学科	キャリアデザイン学部	スポーツ健康学部
入 学 金 ※	270,000 円	270,000 円	270,000 円	270,000 円	270,000 円	270,000 円
授 業 料 <年額>	758,000 円	758,000 円	758,000 円	758,000 円	758,000 円	810,000 円
実験実習料 <年額>	—	22,000 円	42,000 円	42,000 円	21,000 円	100,000 円
教育充実費 <年額>	228,000 円	228,000 円	228,000 円	228,000 円	228,000 円	278,000 円
初年度合計	1,256,000 円	1,278,000 円	1,298,000 円	1,298,000 円	1,277,000 円	1,458,000 円
入学手続時の納入金 (入学金以外は第1期分)	763,000 円	774,000 円	784,000 円	784,000 円	773,500 円	864,000 円
入学後納入金 (第2期分)	493,000 円	504,000 円	514,000 円	514,000 円	503,500 円	594,000 円

※本学卒業生で学士入学する方の入学金は、上記の半額になります。

《注意》

- 上記学費の他に、毎年諸会費約15,000円～20,000円が必要となります(スポーツ健康学部は別途約38,000円が必要)。
- 授業料・教育充実費・実験実習料は入学手続時に年額のうち、第1期分(半額)を納入することになります。
- 翌年度以降は授業料・教育充実費・実験実習料(文学部地理学科・心理学科、現代福祉学部臨床心理学科、キャリアデザイン学部、スポーツ健康学部のみ)および諸会費の合計額となります。ただし、これらの学費のうち授業料については漸増方式を採用しています。
- 学費および諸会費の他に4年次の第1期に卒業生組職の会費として30,000円が必要となります。

17 問い合わせ先一覧

学 年	学 部	電 話 番 号	取り扱い時間
2年次	現代福祉学部	042-783-2806～7	平日 9:00～17:00 (11:30～12:30を除く) 土曜日 9:00～12:00
	キャリアデザイン学部	03-3264-9341	平日 9:00～19:00 (11:30～12:30を除く) 土曜日 9:00～12:00
2・3年次	法学部	03-3264-9322～3	平日 9:00～17:00 (11:30～12:30を除く) 土曜日 9:00～12:00
	文学部	03-3264-9324～5	
	経済学部	042-783-2501～3	
	社会学部	042-783-2352～4	
	経営学部	03-3264-9331～2	
	スポーツ健康学部	042-783-2121	
3年次	人間環境学部	03-3264-9327	平日 9:00～19:00 (11:30～12:30を除く) 土曜日 9:00～12:00
学費および諸会費	経理部	03-3264-9270	平日 9:00～17:00 (11:30～12:30を除く)

■休暇期間中の業務

- 休暇期間中（8月4日～9月15日）の土曜日、および一斉休暇（8月13日～8月19日、12月26日～2013年1月7日）は、業務を行いませんのでご注意ください。
- 休暇期間中の平日の窓口取り扱い時間は16:00までとなります。